

小麦品種「あやひかり」の安定多収のための生育指標

利用対象：麦生産経営体、指導機関

三重県の主要小麦品種である「あやひかり」の安定多収〔実収 500kg/10a〕を得るための止葉抽出始期の生育指標を作成しました。

標準的な分施において止葉抽出始期の施肥前の生育指標は表 1 のとおりです。

この時、標準的な追肥（窒素 3kg/10a）を行うことで目標とする収量を得ることが出来ます。また、生育が過剰である場合、減肥または施肥を取りやめることで倒伏を防ぐことが出来ます。

表 1. 「あやひかり」の安定多収〔実収 500kg/10a〕を得るための止葉抽出始期の生育指標

生育 指標値	各生育量の目安		
	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色 (SPAD値)
106～150	44～54	570～600	40～45

*生育指標値が 150 を超える場合は、止葉抽出始期の追肥を減肥または取りやめる。

生育指標値 $\{ \text{草丈 (cm)} \times \text{茎数 (本/m}^2\text{)} \times \text{葉色 (SPAD 値)} \} / 10,000$ の求め方

①調査時期は止葉抽出始期

- 止葉が 1～3 割程度抽出した時が止葉抽出始期です。
- 止葉抽出始期は生育予測システムで播種日を基に求めることができます。
- 止葉抽出始期の草丈は 40～50cm です。

②草丈の測り方

- 畦際や枕地を除く条で計測します。
- 草丈は地際から葉先までの長さを 10cm 程度の間隔で 10 株測ります。生育指標値の計算には 10 株の平均値を用います。

③茎数の求め方

- 畦際や枕地を除く条で計測します。
- 1m間の茎数を数えます。（茎は長短に関わらず全て数えます）
- 下記の式を用いてm²あたり茎数を計算します。
- 茎数 (本/m²) = 計測茎数 (本) ÷ 条間 (m)

④葉色 (SPAD) の求め方

- 専用の機械（葉緑素系 SPAD-502Plus）を用いて計測します。
- 主茎の止葉の 2 枚前の葉の中ほどを測定します。
- 10 株程度測定して平均を求めます。



お問い合わせ先	生産技術研究室農産研究課 田畑茂樹 電話 0598-42-6359 中央農業改良普及センター 磯山繁幸 電話 0598-42-6323
参考になる資料	http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm チゼル深耕を核とした持続可能な水田多収輪作体系マニュアル